

未来へ夢を育む学校



学校だより

(題字 学校長)

11月号 学校長 望月 重晴



自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子ども

校長 望月 重晴

菊花の季節となりました。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。10月22日(土)には、「楽しむ人には福来る～一人ひとりが楽しんで、思い出に残る運動会～」というテーマを掲げ、第86回運動会が行われました。今年度は、個人競技や団体競技、団体演技やリレーと、子どもたちの活躍の時間を少しでも多くもちたいという考えから3部制で運動会を開催することとしました。子どもたちは一人ひとりがめあてをもち、それぞれ力を出し切って運動会に参加できたことと思います。運動会を迎えるにあたり、保護者の皆様からは、ご支援や応援をたくさんいただきました。ありがとうございました。



先日、1年生の教室で私が道徳の授業をしました。教材は「かぼちゃのつる」です。懐かしいとお感じの方もいらっしゃるでしょうか。道徳の教材としては、ずっと前から読まれていたお話です。みんなにやめてと言われていたかぼちゃが、それを聞き入れず最後にけがをしてしまうというお話です。わがままをしてしまうかぼちゃに、どのようにするとよいか教えてほしいと投げかけたところ、「人の迷惑になることはいけないよ。」「友達の気持ちを考えるといいよ。」など、周りの人たちを気遣う発言がありました。子どもたちは一生懸命考えていて、一緒に学習できたことがとても嬉しかったです。道徳の学習をしたからといって、次の瞬間からいつでも相手に気持ちを向けることができるわけではありません。上手に気持ちを伝えることができる子どももいれば、なかなか自分の思いを伝えることができない子どももいます。でも、このような道徳の学習を一つ一つ重ねていくことで、次第に子どもたちの心の中に大切な思いや気持ちが残っていくのではないかと考えています。

さて、11月25日(金)には、本校の研究テーマである「自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子ども」を目指して、公開授業研究会を行います。本校としては3年ぶりの公開授業研究会です。15年間取り組んでいる「自主的学習力の育成」について、横浜市内を中心に教職員のみなさんに本校の授業と今年度の取組を公開いたします。当日も含め、元文部科学省教育課程課教科調査官の井上一郎先生に継続的にご指導いただいておりますが、一つの学校で15年間も同じ研究テーマで研究を進めていくことはとても貴重なことだと考えています。当日の公開は一部の学級となりますが、授業公開にかかわらず、どの学年学級でも、子どもたちへの学習方法の改善に向けて、全教職員で取り組みを進めていきます。また、子どもたちが自主的に学習していくことが充実すれば、自分で学ぶことができた自己有用感や達成感、友達と協力して学ぶ楽しさやよさも感じることを考えています。自分で考えた学習方法で新たに知ったことやできたこと、友達と教え合うことで一人ではできなかったことができるようになったことなど、自主的な学習力を高めることで得られることは多様にあります。子どもたちのために、私たちも学び続ける教職員でありたいと思っています。ご理解とご協力をいただけますと幸いです。当日の様子については、地域や保護者の皆様に直接ご覧いただくことができませんが、後日改めてお伝えできればと思います。



今月もどうぞよろしく願いいたします。